



すぎさん

令和6年 5月号

杉並区立杉並第三小学校

〒166-0003 杉並区高円寺南1-15-13

TEL 03-3314-1564

FAX 03-3314-1449

<http://www.suginami-school.ed.jp/sugi3show/>

「じっくり考えて、まちがえる」経験

校長 森賀 慎一

令和6年度の学校が始まって約一か月が過ぎました。黄色い帽子をかぶった一年生もようやく学校生活に慣れてきたように感じます。どの教室にも、進級した教室で頑張ろうとする子どもたちの姿がたくさん見つかって、見ているこちらがわくわくした気持ちになります。

さて、新年度はたくさんさんの郵便物が届くのですが、その中のある冊子に「『考える時間』を楽しむ授業デザイン」という特集があり、その巻頭に東京大学薬学部教授の池谷裕二氏の提言がありました。池谷氏はAIの研究もされていて、AIと人が上手に学ぶための秘訣がかなり似通っていると主張されています。興味深く読んでいくと、AIにあまりに早く学習させようとすると、与えられた情報を丸暗記する傾向になってしまい、物事の本質にいつこうに至らないそうです。またAIにも定着するための時間を設けた方がよいとのことでした。人間でいうと家でその日の授業内容を復習するようなプロセスを設けて、猶予を与えてやると飛躍的に学習の精度が上がるそうです。

このことから、「ゆっくり学習させる」「定着させる時間を設ける」という二つの重要性は人間にとってもAIにとっても同じだというお話でした。

池谷氏はもう一つ研究の成果を紹介されていて、ネズミを迷路に放して餌に行きつくまでどのくらいの時間がかかったかを測定し、最終的に迷路を覚えるまでに要した時間を比較したそうです。

迷路の別れ道に来た時、「こっちだ」とすぐ判断してしまうネズミは結果的に学習が遅いそうです。じっくり考えたネズミの方が、学習が成立しています。さらに、じっくり考えて正解した時とじっくり考えただけど失敗した時と、どちらが学習に寄与するかというと、失敗してしまっただけの時よりも人間も同じで、じっくりと考えて間違えるよりも「なぜ間違えたんだろう」ともう一度考えるとのことでした。

どちらの研究結果もとても説得力のあるもので、このことを私たちは授業に生かせるのではないかと思います。保護者会でもお伝えした通り、「間違えること」にはやはり価値があることに加え、「ゆっくり・じっくり・あせらず」子どもたちの学習の速度を、その子に合わせていくことも大切だと感じました。ぜひご家庭でもそのようなことを意識して、大切なお子様の考える力の向上につなげていきたいだけとありがたいです。

5月の生活目標

安全な生活をしよう

新年度が始まり1カ月が過ぎました。生活指導朝会で杉三スタンダードを各クラスで確認し、気持ちのよいスタートを切ることができました。子どもたちは新しい環境にも慣れ、伸び伸びと学校生活を楽しんでいきます。

「慣れた」頃に一番気を付けなければならないのは安全面です。気の緩みから大ききかけや事故につながる可能性があります。気候もよく外遊びが活発になるため、遊んでいい場所、遊んではいけない物や場所、遊びのルール等の確認をしていきます。気持ちを引き締め、楽しく安心安全な学校生活を送れるよう、指導していきます。